

学校新聞

平成30年度
「薫風」第6号
12月25日(火)

薫風

～緑新たに風も薫れり～



発行元 東京都立大崎高等学校全日課程 〒142-0042 品川区豊町2-1-7

貴重な高校生活 時間を有意義に

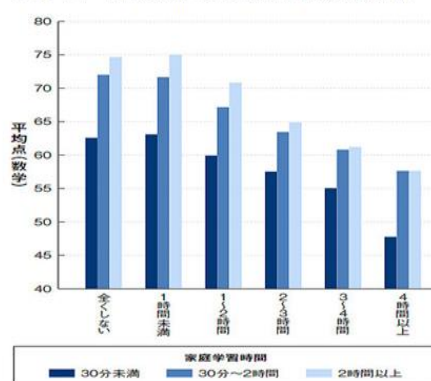
校長 豊岡 耕一郎

いよいよ2学期も終わり、今年も残りわずかとなりました。2学期は行事が盛り沢山でしたが、勉強に学校行事によく頑張っていました。大会や発表会など部活動でも、活躍をした部が多くありました。ペーパージオラマ部は、第10回全国高等学校鉄道模型コンテストにおいて、昨年に続き最優秀賞に輝きました。女子バレー部は、新人選手権大会において予選2位で本大会に進みました。本戦では負けましたが、練習の成果が出た良い試合だったと思います。個人では、男子バスケットボール部2年生の三谷 零くんが支部選抜選手に選ばれたり、男子テニス部2年の片山 春輝くんが、新人選手権大会において、都立生では中々勝ち上がれないところ本戦に勝ち進み、1勝を挙げたりするなどの活躍をしました。他にも、女子バスケット部やサッカー一部など、公式戦は負けましたが、最後まであきらめずに頑張っていたことが印象に残ります。今後も大崎生の活躍に期待します。



さて、新年を迎えるにあたり、皆さんに今一度考えてほしいことがあります。それは時間の使い方です。皆さんは、部活と学業、あるいは読書・趣味、友達との語りなどやる事がたくさんあると思いますが、バランスよくメリハリをつけて過ごしていますか。部活がオフのときなどゲームばかりやって、無計画に過ごしていませんか。皆さんの時間の使い方を見ていて、特に気になるのはスマホの使用時間です。最近、『**スマホが学力を破壊する**』（集英社新書：著者川島 隆太）という本が話題になっています。何とも刺激的なタイトルですが、この本には仙台市の小・中・高校生7万人からの調査結果から、スマホと学力の因果関係について述べられています。右のグラフを見てもわかる通り、家庭での勉強時間が同じでも、携帯・スマホを使用する時間の長いほど成績が下がっていることがわかります。驚くのは、家庭で毎日2時間以上も勉強をしても、携帯・スマホを3時間以上使用すると、携帯・スマホを使用しないけれど勉強もしない生徒よりも成績が低くなっていることです。**2時間を超える勉強の努力が、スマホを長時間使うことで消えてしまったことになっています。**逆に、使用が1時間以内の生徒は、時間管理ができるということで、成績は上がっています。他にも勉強をしている最中でも、SNSに注意が向いてしまうことで、注意力が散漫になったり、読解力が低下してしまったりする傾向があるとも書かれています。気になる生徒は是非読んでみてください。

グラフ1-1 平日の携帯・スマホ使用時間(平成25年度)



貴重な高校生活、時間は限られています。自分の目標をしっかりと定め、計画的に過ごすことができるよう、時間を管理する能力を身につけて欲しいと思います。

それでは皆さん、体調にはくれぐれも気をつけて、3学期始業式には元気な顔を拝見できることを楽しみにしています。

「第3学年より」

第3学年主任 大嶽 敦

新年を迎えるにあたり、新しい年の目標を立ててほしいです。そのために、この一年の自分を振り返り、来年の自分を高めるために、目標を立てましょう。

来年は、高校卒業の年、そして進学、就職の新たなスタートの年。今後の生き方についてこの機械に考えてほしいです。

新年を迎えると直ぐに、大学センター試験、その後一般受験と続きます。受験をする人は、努力を惜しまず勉強に取り組んでください。

この時点からの本気の頑張りは、実力レベルが相当にレベルアップします。

是非、志望校合格を勝ち取ってください。学年一同、応援しています。



「冬休み、そして修学旅行に向けて」

第2学年主任 小島 弘之

2学年は、3学期始業式の翌日から3泊4日で沖縄修学旅行を実施します。

冬休み中の1月7日には沖縄に送る荷物の搬入を行います。3学期には入って準備する時間はありません、冬休み中にしっかりと準備を進めておくことが必要です。しおりに保険証のコピーを添付するなど、大切な事項も多くあります。ご家庭での指導もよろしくお願いいたします。保護者もしおりに目を通して、重要項目を控えておかれることも併せてお願いいたします。

また、インフルエンザの流行する時期でもありますので、冬休み中の健康管理にも十分注意してください。

12月21日には横浜での校外学習を実施いたしました。朝の集合場所は、修学旅行の集合場所と同じく国内線第2旅客ターミナルといたしました。ということで修学旅行当日、集合場所に迷う生徒はいないかと思いますが、朝の集合時刻（6時45分です）が早いので注意が必要です。

12月20日の学年集会では、修学旅行の最終事前指導を行い、そこでは「他者を思いやり大切にすることを心がけて行動をしよう」と話しました。仲間とともに沖縄の一般家庭に宿泊し、沖縄の文化や自然に触れる体験は、よき思い出となることでしょう。よき思い出をつくるためにもルールを守り、沖縄の方々や仲間を大切にすることを願っています。

さて、2学期は、黎明祭や強歩遠足などを通して生徒たちは仲間とのコミュニケーションを深め、大きく成長したのではないかと思います。

2学期、生徒たちには 学習面では集中力、忍耐力を培うことが大切であると伝えてきました。また、生活面では、メリハリをつけて規律ある生活を送ることが大切であると伝え、みだしなみや遅刻の指導をしてきました。少数ですが遅刻の多い生徒もいます。このような生徒は個別に指導していますが、3学期は遅刻ゼロを目標として指導を継続してまいります。

2学年の3学期は「3学年0学期」と言われることがあります。冬休み中。そしてこの学期に進路についてどのように過ごすか第一志望合格の大きな鍵となります。

多くの生徒たちが、すでに志望する学校を具体的に決めていますが、これは嬉しいことです。生徒各自なすことは異なります。しっかりと未来を見据えて、残された2学年の時間を、なにをなすべきかをよく考え、有効に使ってほしいと願っています。

「ライフプラン」

第1学年主任 伊堂寺 豊

高校受験から始まり、入学式、校歌コンクール、体育祭、黎明祭など、1年生の生徒や保護者の皆さまにとっては、激動の2018年がもうすぐ終わります。1年生は本当に良く頑張っています。多くの1年生が笑顔で挨拶してくれて、私はとても嬉しいです。しかし、残念ながら、身だしなみ指導や遅刻指導を受けた生徒も数人います。また、授業の態度、提出物、テスト勉強などがおろそかになっている生徒もいます。今の自分の行動が、将来の自分に繋がっています。3学期は、身だしなみ指導や遅刻指導が0件であることを強く願っています。

さて、残り3ヶ月で2年生になります。そのために、まずは、3学期の授業や学年末考査を頑張らなくてはなりません。2年生になれば、立場が変わります。後輩ができます。数ヶ月で先輩が部活動を引退します。今度は皆さんが学校を引っ張る番です。あつという間です。全ては準備と心構えです。冬休みにライフプランを考え、先を予測し、やるべきことを一つ一つやってください。1年生の皆さんならきっとできます。応援しています。



「一年の計は元旦にあり！進路に向き合う冬休みに」

進路指導部主任 廣見 卓哉

早いもので平成最後の年末を迎えようとしています。年が改まり、年始の独特の雰囲気の中、それぞれの学年の総仕上げの時期を迎えるわけです。ともすれば平凡な毎日の繰り返しになりがちですが、暦や年中行事によって意識して区切るのは、先人の知恵だと思えます。「一年の計は元旦にあり！」とはよく言ったものです。私も毎年実践しています。一年の目標を書くようになってから、日々の充実度が上がったように思います。諸君たちも是非実践してみたいものです。また、この時間のある休みに、今一度自分の進路について沈思、黙考、瞑想してイメージを膨らませてみてください。

さて、世は激しい変化の時代で、情報化の波は加速度的に押し寄せていますね。「日経ビジネス」という雑誌によると、AI化によって2040年ごろには今ある職業の8割くらいが消滅するとあります。諸君たちはこれから転職を余儀なくされる世代になるかもしれません。その時に備えてというわけではありませんが、人間力を磨いていかなばならないでしょう。深い洞察力、読解力、思考力、また思いやり、人間愛といったものがより一層大切になってくると思います。この変化の激しい時代だからこそ、「すぐに役立つことは、すぐに役立たなくなります。」という元慶応大学学長、小泉信三の言葉が重みをもってくると思えます。すぐに役立たない勉強こそが、実は役に立つというのは示唆に富む言葉だと思いませんか？高校時代に基礎的な勉強をしっかりして、自分の進路につなげていってほしいと思います。「こんなこと勉強して何の役に立つんだ。」と思ったら、実はラッキーなのかもしれません。それこそ、真に学ぶ価値がある可能性大だからです。日々の授業に前向きに取り組み、自分の進路実現につなげていきましょう。

最後に、3年生の一般受験組へ！

自分を信じて最後の最後まであきらめずに入試に立ち向かってください。「人事を尽くして天命を待つ。」といいますが、結果はきつとついてくると信じて前向きに努力を続けて下さい。いい春を迎えられんこと祈ってます！

ファイト大崎生！我ら大崎！誇りを胸に！

「自分の今年を振り返る」

副校長 池田 茂樹

光陰矢の如し、と言いますが、本当に月日の経つのは早いもので今年も残すところあとわずかとなりました。さて、皆さんにとって平成最後の1年はどのような年であったでしょうか。来年をいいものにするために、ここで、自分の今年を振り返ってみてください。後悔したことを思い出す人もいるでしょう。反省も大切です。良いことや悪いこと、嬉しいこと、悲しいこと、いろんな思いや体験をした1年であったかと思えます。今年を振り返って、来年を「今年より良い年」に、「今の自分をさらに向上させる」ために、少し考えてほしいヒントがあります。今までやってきたことを改善するときや、新しいことを始めるときの3つのポイントです。実行すれば自分の生活や行動を律して、健康維持や学力向上などにつながるはずで

(1) 時間を考える。(時を守る)

1日の時間の組み立てと使い方を考えます。時間の管理が行き届いているかどうかということです。時間を示し、期限を決めて、決まった期限を守ることです。又、時を守るとは、最も基本的な人との約束を守るという事で、『礼を正す』にもなります。時間を守るということは相手を尊重することです。また、それにより自分の信用を積み重ねることです。時間を守れないと意味はありません。例えば、英語の語彙力アップという新しい目標を立てる、そのために、通学途中で単語を5つ覚える、昼休みに2つ覚える。夜7時には勉強を始めるとか。1日の時間の中にやることを組み込むことです。

(2) 人との関わりを大切にする。(礼を尽くす)

どんな小さな目標も、自分だけの力で達成することは難しいものです。周囲の人の協力をもろうために、礼を尽くし、相手の気持ちになり、人との関わりを大切にしましょう。例えば、周囲の人から頑張れと応援してもらおうと力がでてくることがあります。

(3) 環境を整える。(場を清める)

その目的のために、日頃から環境整備をしましょう。例えば、成績を上げるという目的のために、いつでも勉強できる環境をつくる。机の上は必ず整理しておく、イスはいつでも座れるように鞆を置いたりしないなど、いつでも勉強する環境を整えておくことです。

来年の目標を立て、その目標を達成するために、時間、コミュニケーション、環境を考えてください。そして実現させるコツは、直ぐに出来なくても、一度や二度うまくいかなくても、気にせず、ただひたすら続けることです。続けるということが力になります。継続は力なりです。自分のこれまでを振り返り、そして新たな年に向けて自分の目標を考えてみましょう。

【今年の振り返りをするために6つの項目について考えてみましょう。】

- 1 学習や活動、行事をとおして、自分自身の個性や適性、能力などについて理解することはできましたか。
- 2 自分の考えや意見、気持ちを積極的に表現し相手や周りの人に伝えようとすることはできましたか。
- 3 周囲の人たちと積極的にかかわろうとしたり、コミュニケーションを図ろうとしたりして、スムーズな人間関係をつくることができましたか。
- 4 将来の夢や希望を思い描き、自分の将来のことについて考えようとしていましたか。
- 5 この1年間、共に活動してきた学級の友だちに対して感謝のメッセージを書きましたか。
- 6 今年の反省も考慮しながら、来年はどんな自分になりたいですか。今の気持ちを書いてみましょう。

